

令和元年度
第2回いわき市地域自立支援協議会議事録

いわき市保健福祉部

議 事 録

会議名	令和元年度 第2回いわき市地域自立支援協議会		
日 時	令和元年度 10月3日(木)	会 場	いわき市役所
	午後2時15分から午後4時00分		第8会議室
出席委員	【構成区分】	(氏名)	(所属・職名)
	障がい者福祉団体	吉江 路子	いわき市盲人福祉協会 女性部副部長
		箱崎 孝	いわき市手をつなぐ育成会
		石井 静子	いわき市聴力障害者会副会長 ・事務局長
	障がい者福祉施設等	古館 信義	いわき市身体障害者福祉協会会長
		長谷川 勇三	いわき市腎臓病患者友の会
		渡辺 さゆり	いわき地区自閉症児・者親の会会長
		鈴木 繁生	いわき地区障がい者福祉連絡協議会 【会長】
		高木 郁夫	(社福) いわき福音協会はまなす荘 次長
		古川 敬	(社福) 育成会 理事・本部事務局長
	障がい者関係機関	栗村 嘉起	いわき障害者就業・生活支援センター 所長
		吉田 裕之	社会福祉法人いわき市社会福祉協議会 生活支援課長
	学識関係者	佐藤 清悦	福島県立いわき支援学校校長
星 保男		平公共職業安定所 所長	
山本 佳子		医療創生大学教養学地域教養学科 教授 【副会長】	
市民代表	大和田 宗子	いわき市ボランティア連絡協議会	
欠席委員	学識関係者	田子 久夫	公益財団法人磐城済世会舞子浜病院 名誉院長
		関 晴朗	独立行政法人国立病院機構いわき病院 院長
	障がい者福祉施設等	谷平 耀宗	社会福祉法人誠心会 事務局長
		草野 滋章	社会福祉法人希望の杜福祉会常務理事
	障がい者関係機関	神田 豊	福島県立平支援学校校長

	【構成区分】	(氏名)	(所属・職名)
事務局	いわき市	飯尾 仁	保健福祉部 部長
		園部 衛	同 次長(兼)総合調整担当
		吉野 優子	保健所地域保健課 課長
		長谷川 政宣	障がい福祉課 課長
		根本 健男	同 課長補佐
		猪狩 大樹	同 事業係長
		工藤 慎也	同 支援係長
		安藤 成央	同 主査
		加茂 雄一	同 主査
		白石 直	同 主査
	基幹相談支援センター	園部 義博	いわき基幹相談支援センター所長
		木村 活昭	いわき基幹相談支援センター
		時實 祐志	同
		本田 隆光	同 アドバイザー
	いわき障がい者相談支援センター	各地域	北部地域
		相談支援員	小名浜地域
		勿来・田人地域	
		常磐・遠野地域	
		内郷・好間・三和地域	
各専門部会	部会長	就労支援部会	
配布資料	○次 第		
	○令和元年度第2回いわき市地域自立支援協議会資料		
	○報告事項1に係る追加資料(両面刷り・1枚)		
	○別冊1「第4次いわき市障がい者計画事業実施状況」		
	○別冊2「第5次いわき市障害福祉計画の実施状況」／「第1期いわき市障害児福祉計画の実施状況」		

○ 令和元年度第2回地域自立支援協議会

I 開 会

II 会長あいさつ

III 議 事

議 長 次第に基づき、議事進行をさせていただきます。はじめに、「報告事項(1) 障害者差別解消法に係る対応案等の報告について」、事務局より説明をお願いいたします。

事 務 局 (資料に基づいて説明)

議 長 只今、事務局より説明がありましたが、内容等につきまして、何か御質問等ございましたら、お願いいたします。

報告されたものについては、市の対応要領に沿って報告がされていると思います。

皆様の団体、また関係されている方々においては、地域の中で差別等々、目にしたり耳にしたりすることもあると思います。今後とも何か差別的な事案があれば、市へ報告していただきますよう、周知・啓発の徹底をお願いします。

無ければ、次に移らせていただきます。

次に「報告事項(2) 第4次いわき市障がい者計画（後期）等の実施状況」について、事務局より説明をお願いいたします。

事 務 局 (資料に基づいて説明)

議 長 只今、事務局より説明がありましたが、内容等につきまして、何か御質問等ございましたら、お願いいたします。

議 長 では私から質問ですが、本資料7ページの下「目標達成のための方策 多様化・複雑化する障がい児支援に対するニーズに対応するため、いわき市地域自立支援協議会（児童・療育支援部会）等において現状及び課題の調査・検証を行い、関係機関等との連携を強化するなど、体制づくりに努めます。」ですが、

議 長 別冊1 第4次いわき市障がい者計画事業実施状況の21ページ下から2つ目、保育士や幼稚園教諭の一層の充実、こども支援課で評価がCとなっています。

22ページの下から2番目、こども支援課の保育士や幼稚園教諭の一層の充実、こちらもCとなっています。

こういった事が重なって、先ほどの本資料1ページ目、報告事項の差別的扱いのところで、子育てサポートセンターの事例の内容に繋がっていくのかと考えられます。

保育士の充実は、なかなか人材を確保できず大変だとは思いますが、一層充実していくことが、この発達障がいのお子さんに対する支援にも繋がっていくと考えられます。

児童・療育支援部会とこどもみらい部こども支援課との連携はあるのか、お伺いしたいのですが、よろしく申し上げます。

事務局 今年度から、市こどもみらい部子育てサポートセンターの職員が、児童・療育支援部会の部会長に就いております。

これを契機として、関係機関との連携を深めていきたいと考えております。

事務局 障がい者相談支援センターの〇〇と申します。

(障がい者相談支援センター) 前年度まで児童・療育支援部会の会長をさせていただきましたので、補足させていただきます。

今ほど、事務局(障がい福祉課)から説明がありましたが、これまで児童・療育支援部会において、母子保健や専門の児童の療育を考えたときに、専門的な知識がある方が部会長に就かれた方が、より議論が回るのではないかという思いがありました。

このこともあり、市子育てサポートセンターからの報告における保育園の差別的取扱いに対する対応などからも御理解いただけますように、今後の各機関等との連携体制を整えていく必要性を考慮したうえで、市子育てサポートセンターに部会長を担っていただく事になりました。

また、副部会長には児童発達支援センター3か所から、このうち「エデンの家」は医療的分野の専門という形で就任していただきました。

この様に専門機関が連携することによって、保育士などの必

事務局 (障がい者相談支援センター)

要とする人材の確保や発達障がいのお子さんに対するサポート体制の連携を図れる形を構築いたしました。

今年度は体制づくり、来年度以降さらに強力な連携体制を整えていきたいと考えております。

議長

はい、ありがとうございます。

縦割りではなく、横のつながりを持って進めていただけたらと思います。

また、本資料6ページ目、一般就労等々の事が載っておりますが、本市の法定雇用率は全国平均を上回っており、県の平均も上回っています。

その中でも、障害者就業・生活支援センターが重要な役割を担っていると思うのですが、(〇〇委員)一言この件について、御意見・御感想などいただければと思います。

〇〇委員

本市は県内でも障がい者雇用に対して、任意団体ではありませんが職親会はじめ、ハローワークなどが連携して雇用の確保を進めていることで、本市は県内でもナンバーワンの雇用率を誇っているところでもあります。

これに関しましては、障害者就業・生活支援センターとしましても、関係機関の皆さまの御協力に感謝しているところでもあります。

ただ、当センターの状況として、新規の相談者が減ってきているのが伺えます。

そのあたりの精査は必要なのですが、今、就労系の障害福祉サービス事業所がかなり増えている、報告いただいた個々の達成率の中でも就労継続支援A型、就労移行支援が特に増えている。

しかし、就労定着支援事業の実績ゼロということですが、就労定着支援事業にも新規参入の促進を図っていくためには、具体的にどのような方策を考えているのか、どのような周知方法で促進していくのか、具体的なプランなど現段階での考えがあれば伺いたいと思います。

事務局

就労定着支援事業所につきましては、休止の事業所が1か所、新たに指定予定の事業所が1か所ございます。

事務局 今のところ具体的な方策は検討中ですが、なぜ就労定着支援が広がっていかないのか、どうしたら開設していただけるのかを検証しながら、休止中の事業所も含めて、徐々に事業所数の確保に繋げてきたいと考えております。

〇〇委員 国内においても、まだまだ就労定着支援事業が広がっていないようで、県内でも数事業所ぐらいでしょうか。

国などの動向を見ながら、何らかの対応を検討しているのかと思います、お伺いしたところです。

なお、障がい者雇用における職場への定着自体は、障害者就業・生活支援センターの昨年度の年次報告で申し上げますと、利用登録者に限っては定着率が上がっております。

今後、当センターと就労定着支援事業所との連携というところも出てくると思いますので、ぜひ何か動きがあるときは当センターを含めて市から声を掛けいただければと思っております。よろしく申し上げます。

議長 〇〇委員の方からもありましたが、県内で一番の雇用率をいわき市が誇っていると、また定着率も上がっていることがございます。

どうしてもいわき市の一市民としましては、本市はまだまだだなど思いが強くなってしまいがちですが、きちんと状況を分析してみれば、障がい者の雇用数が上がっている、定着率も上がっているという成果が出ておりますので、関係機関の皆さんはこれらの点を強くアピールして、ますます障がい者雇用の促進に力を入れていただけたらと思います。

その他、御質問等ございませんでしょうか。無ければ、次に移らせていただきます。

議長 次に「報告事項(3) 第5次いわき市障がい者計画等の策定」について、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料に基づいて説明)

議長 只今、事務局より説明がありましたが、内容等につきまして、何かご質問等ございましたら、お願いいたします。

議 長 無いようですので、次に移らせていただきます。

議 長 次に「協議事項(1) 地域生活支援強化事業について」についてです。

皆様には、前回の会議においてお配りした別冊資料を御覧のうえ、本日の会議に出席していただくようお願いしていたところです。

前回から3か月経過しておりますので、協議に入る前に第1回会議において出された御質問・御意見等の六点について、振り返りたいと思います。

一点目として、資料に記載されている「南部地域」とはどこを指すのかとの質問がございました。

事務局からは、小名浜地区、勿来・田人地区。いわき市にある7つの地区保健福祉センターの内、小名浜、勿来・田人の2つに地区保健福祉センターの管轄地区を南部地域と考えているとの回答がなされました。

二点目として、本事業について予算要求の内容について質問がありました。

事務局からは、居室確保に係るものを主として予算要求するとともに、日中一時支援事業の対象事業所が増えることに伴う利用者の増加などへの対応など、必要な経費を要求していきたいと考えを示されました。

三点目として、予算要求に関連し、市単独事業なのか、国の補助制度によるものなのかとの質問がなされました。

事務局からは、補助対象となる部分、ならない部分があり、補助対象となる部分については最大限活用していきたいとの答弁でありました。

四点目として、緊急時の宿泊日数について質問がなされました。

事務局からは、1回あたり原則として月に7日間を限度として、また特に必要性がある場合は14日間まで延長という案で検討しているとの答弁でありました。

議長 五点目として、24 時間 365 日の対応について、受け入れる側の事業所の窓口も 24 時間対応となるのかとの質問がなされました。

事務局からは、まず対象者本人が利用している事業所との調整を図り、夜間や休日など、本人が利用している事業所との調整が付かない場合は、市の職員が状況を確認したうえで、今後、新たに設置するコーディネーターに繋ぎ、居室と人員配置を確保している緊急時宿泊事業に繋ぐという流れを想定しているとの答弁でありました。

最後六点目として、地域生活支援コーディネーターの配置する組織について質問がなされました。

事務局からは、実施当初は市役所本庁舎の障がい福祉課内に設置し、その後、体制が整い次第、南部地域への配置転換をするなど弾力的な方法を取り組みたいと答弁でありました。

以上、六点のことを踏まえまして、協議に入らせていただきます。

内容等につきまして、何か御質問等がございましたら、お願いいたします。

また、前回の別冊資料を御覧いただき、もう一度確認したい内容や、御意見・御質問等あればお願いいたします。

議長 それでは、私の方から質問させていただきます。

六点目として説明した地域生活支援コーディネーターの配置についてですが、市障がい福祉課内に設置ということですが、新たにコーディネーターとなる人材を雇用するのではなく、現在、配置されている人材をコーディネーターとして活用していくということによろしいでしょうか。

事務局 その点につきましては、人件費が国の補助対象となるか調査中であること。

また、どのような人材を配置するか検討中であり、御質問の内容については未定となっております。

議長 はい、ありがとうございます。

議長 日中一時支援事業の対象事業所が増えることに伴う利用者の増加などへの対応では、障がい福祉課長からも説明があったのですが、あくまでも緊急時が中心になってきますので、生活介護事業所で次々に日中一時支援事業を始めて、利用者の大多数が利用するものではなくて、緊急時に利用していただく事が前提となっているようです。

この他、御質問等ございませんでしょうか。

議長 このほかに体験機会の場として、体験専門のグループホーム事業の創設、検討というものもありました。

この件についても南部地域優先に整備ということになっておりますけれども、この点についても具体的にいずれかの法人に働きかけているといった事あるのでしょうか。

事務局 本市南部地域に事業所を設置している法人などに、この案の更に素案のような段階で、こういうことを市で考えています。と、お伝えして御意見をいくつかいただいております。

その際、協力の可能性をいくつかの法人から伺っております。

ただし、詳細につきましては、これから進めていくということになります。以上です。

議長 ありがとうございます。

南部地域優先で、グループホーム事業の創設も検討されているとのことですが、〇〇委員から南部地域の実情や、体験型グループホームの必要性であったり、事業所数の充足であったり、南部の障害福祉サービス事業について御意見等あればお聞かせ願いたいと思います。

〇〇委員 今年7月1日、当法人で勿来地区に通所の就労系サービス事業所を立ち上げました。

立ち上げたそもそもの理由が、本市の南部地域に障害福祉サービスの資源が少ない、稀薄であるということが基礎となり、新規に事業所を立ち上げたわけですが、今のところ大赤字の事業所になっています。

この場で話すべきではないと思いますが、この新規事業所は

〇〇委員

就労継続支援 B 型が定員 14 名、就労移行支援事業が定員 6 名という多機能型です。勿来・錦・植田などの地域をターゲットにして、この地域から通える、自宅から通える事業所を作ろう、そこには利用者のニーズがあると、調査の段階ではかなり見えていました。

いわき支援学校くぼた校が平成 27 年に開校して、その直後にそういったお話をいただいてニーズ調査をしました、生徒の御父兄の方々にも調査をいたしました。

その結果、相当なサービス利用希望がありました。

ところが、蓋を開いてみるとそうではないなど、しかも来年度の利用に向けての動き、これも少ないですね。

これらのことが、かなり想定と違うな。という気がしています。

本市南部地域の障害福祉サービスの資源が少ないというのは、皆さんもご存じのとおりですが、ただそこに事業所ができて、そこに通おうという利用者たちが、現実に見えてこないのはなぜだろう。今、不思議な感覚をしています。

体験型グループホームの件もそうですけれども、現在、小名浜、勿来・田人地区でグループホームを運営している法人は限られていますよね。

そうすると、こういった特定の法人が体験型グループホームの案件に賛同する話にならない限りは、新規でいずれかの法人が事業を立ち上げるしかないこととなります。

当法人は常磐地区に本部がありますが、小名浜、勿来・田人地区で既にグループホームを運営しており、更に新規開設ということは想定できません。

このことから、本市の南部地域でニーズはどれほどあるのだろうと、よくよくここは探らなければならないのではないかと、法人としての反省点も踏まえてお話しさせていただきました。以上です。

議 長

ありがとうございます。貴重な意見だと思います。

事業を始める前には、当然、ニーズを探るものだと思いますが、実際、原因はこれから究明されて行く事だと思いますが、事業を始めてみたら想定よりもニーズが低かったという事実もございます。

議長 　ただ、ニーズ調査した段階では高かったということですから、何かしら原因があると思うのですけれども、今後始めるこの新規の事業についても、南部地域から優先的に始めていきますが、柔軟に対応できる振り幅をもっておこななければいけないのかなと感じました。

　その他、御質問等ございませんでしょうか。

　なければ、御意見を踏まえて、原案のとおり取り組むことでよろしいでしょうか。

議長 　次に「協議事項（2）いわき市指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定」について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 　（資料に基づいて説明）

議長 　只今、事務局より説明がありましたが、内容等につきまして何か御質問等ございましたら、お願いいたします。

　皆さん、ありませんか。

　本市が中核市ということもあり、事務量が膨大なものになって大変だとは思いますが、児童相談所、保健所、発達障がい者支援センター、医療機関等々、関係機関と連携をとり、障がい児通所支援事業所が障がい児のためにより良くなるよう、市では指導・監督を今後も徹底していただけたらと思います。

　他に御意見等なければ、これにつきまして原案のとおり取り組むということよろしいでしょうか。

　これで、本日の報告事項及び協議事項は終了となりますが、「その他」について、事務局から何かありますか。

事務局 　次回、第3回いわき市地域自立支援行議会の開催日程につきましては、当初12月下旬を予定しておりましたが、来年、令和2年1月28日火曜日の開催とさせていただきます。

　また、年度の最後の第4回いわき市地域自立支援協議会につきましては、令和2年3月25日水曜日の開催を予定しております。

　協議内容に係る詳細は、決まり次第お知らせいたしますので、よろしく申し上げます。

議 長

ありがとうございます。

余談ですが、いわき市は障がい者の雇用率が県内でも1番との話が会議前段にありましたが、先日、私がサービス管理責任者の更新研修に参加した時の話です。

本市ホームページに掲載されている本市地域自立支援協議会の議事録を御覧になった、他市町村の事業所の方から大変羨ましがられました。

「素晴らしいですね、いわき市は」と、お褒めをいただきました。

課題はまだ山積しておりますが、1つ1つ議論を積み上げて成果を出すことによって、いわき市が素晴らしいと思っただけのように、頑張っていきたいと思っております。

地域支援体制強化事業等についても、皆様の御協力を得ながら実現していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

本日は、御協力ありがとうございました。

事 務 局

会長、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和元年度第2回いわき市地域自立支援協議会を終了いたします。

皆様、本日はお忙しいところ御出席いただき、誠にありがとうございました。

IV 閉 会